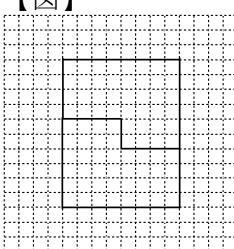
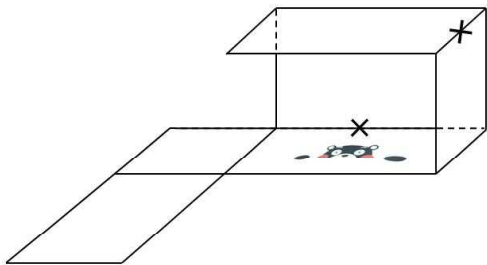
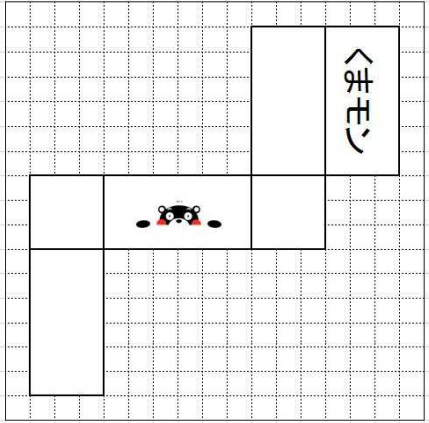


大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点																																									
1	25点	(1)	①	技能			39.1	5																																								
		(2)	②	技能			2.9	5																																								
		(3)	③	技能			0.4	5																																								
		(4)	④	知識			100（倍）	5																																								
		(5)	⑤	技能	○同じ数のカードを2回以上使い、以下に示すいずれかを答えている。 ・ $\boxed{2} + \boxed{2} \times \boxed{9} = 20$ ・ $\boxed{4} + \boxed{4} \times \boxed{4} = 20$ ・ $\boxed{5} + \boxed{3} \times \boxed{5} = 20$ ※上記の答えでかけ算部分が入れ替わっているものでもよい。 (例) $\boxed{2} + \boxed{9} \times \boxed{2} = 20$	2	○以下に示すいずれかを答えている。 ・ $\boxed{8} + \boxed{2} \times \boxed{6} = 20$ ・ $\boxed{6} + \boxed{2} \times \boxed{7} = 20$ ・ $\boxed{4} + \boxed{2} \times \boxed{8} = 20$ ・ $\boxed{8} + \boxed{3} \times \boxed{4} = 20$ ・ $\boxed{2} + \boxed{3} \times \boxed{6} = 20$ ※上記の答えでかけ算部分が入れ替わっているものでもよい。 (例) $\boxed{8} + \boxed{6} \times \boxed{2} = 20$	5																																								
2	25点	(1)ア	⑥	技能	○下記のように、表の数値のみまたは答えのみを正しく書いている。 (例) ・表の数値のみ正しい <table><tr><td>サルビアの本数(本)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>マリーゴールドの本数(本)</td><td>8</td><td>13</td><td>18</td><td>23</td><td>28</td></tr></table> <div>28本ずつ増える</div> ・答えの値のみ正しい <table><tr><td>サルビアの本数(本)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>マリーゴールドの本数(本)</td><td>8</td><td>13</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>5本ずつ増える</div>	サルビアの本数(本)	1	2	3	4	5	マリーゴールドの本数(本)	8	13	18	23	28	サルビアの本数(本)	1	2	3	4	5	マリーゴールドの本数(本)	8	13				2	○下記のように表の数値と答えの値の両方を正しく書いている。 <table><tr><td>サルビアの本数(本)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>マリーゴールドの本数(本)</td><td>8</td><td>13</td><td>18</td><td>23</td><td>28</td></tr></table> <div>5本ずつ増える</div>	サルビアの本数(本)	1	2	3	4	5	マリーゴールドの本数(本)	8	13	18	23	28	5				
		サルビアの本数(本)	1	2	3	4	5																																									
		マリーゴールドの本数(本)	8	13	18	23	28																																									
		サルビアの本数(本)	1	2	3	4	5																																									
		マリーゴールドの本数(本)	8	13																																												
サルビアの本数(本)	1	2	3	4	5																																											
マリーゴールドの本数(本)	8	13	18	23	28																																											
(1)イ	⑦	考え	○以下のいずれかを書いている。 ・ $8 + (\square - 1) \times 5$ ・ $8 + 5 \times (\square - 1)$	3	○以下のいずれかを書いている。 ・ $3 + 5 \times \square = \bigcirc$ ・ $3 + \square \times 5 = \bigcirc$ ・ $5 \times \square + 3 = \bigcirc$ ・ $\square \times 5 + 3 = \bigcirc$	5																																										
(1)ウ	⑧	技能	○「103本」と正しい花の本数のみを書いている。 ○下記のように、表等をかき、式以外のものを使って答えを求めている。 <table><tr><td>サ</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr><tr><td>マ</td><td>8</td><td>13</td><td>18</td><td>23</td><td>28</td><td>33</td><td>38</td><td>43</td><td>48</td><td>53</td><td>58</td><td>63</td><td>68</td><td>73</td><td>78</td><td>83</td><td>88</td><td>93</td><td>98</td><td>103</td></tr></table> <div>(答え) 103本</div>	サ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	マ	8	13	18	23	28	33	38	43	48	53	58	63	68	73	78	83	88	93	98	103	1 3	○(1)イで答えた式をもとに答えを求めている。 【例】(1)イで「 $3 + 5 \times \square = \bigcirc$ 」と書いている場合、その式を使って下記のように求めている。 <div>(式) $3 + 5 \times 20 = 103$ (答え) 103本</div> ※2つの式に分けて計算していても可 $5 \times 20 = 100$ $3 + 100 = 103$ など	5
サ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20																												
マ	8	13	18	23	28	33	38	43	48	53	58	63	68	73	78	83	88	93	98	103																												
(2)ア	⑨	考え	○A、Bのうち、1つ正答している。	2	○A、Bの2つとも正答している。 <div>A $\textcircled{ア}$ B $\textcircled{イ}$</div>	5																																										
(2)イ	⑩	考え	○図をかき加えていない、または、図が不十分であるが、以下に示す内容のうち、1つだけを説明している。 ・長方形の縦の長さが4＋6になる。 ・同じ図形を2つ組み合わせているから、÷2をしている。 ○図をかき加えていない、または、図が不十分であるが、以下に示す両方の内容を説明している。 ・長方形の縦の長さが4＋6になる。 ・同じ図形を2つ組み合わせているから、÷2をしている。 ○正しい図をかき加えているが、説明を書いている。 ○正しい図をかき加えているが、以下に示す内容のうち、1つだけしか説明していない。 ・長方形の縦の長さが4＋6になる。 ・同じ図形を2つ組み合わせているか	1 3 4	○正しい図をかき加え、以下に示す両方の内容を説明している。 【図】  【説明】 ・長方形の縦の長さが4＋6になる。 ・同じ図形を2つ組み合わせているから、÷2をしている。	5																																										

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点											
				ら、÷2をしている。														
				【授業改善の視点】 共同解決の場で、ある児童の考えの続きを学級全体で共有し、言葉や数、式、図を用いて、その考えの続きを説明する活動を取り入れる。														
30点	(1)ア	⑪	知識	○3人の考えのうち、いずれか1つだけが合っている。	1	○3人の考えがすべて合っている。 お父さん〔㊥〕 お母さん〔㊦〕 ともみさん〔㊩〕	5											
				○3人の考えのうち、いずれか2つが合っている。	3													
	(1)イ	⑫	関心	○17902と15273のいずれか一方だけをがい数にして計算している。 ○そのまま計算し、答えをがい数で表している。	1	○上から2けたのがい数にして計算している。 <table><tr><td>計算の式</td><td>人数</td></tr><tr><td>18000－15000</td><td>約3000人</td></tr></table>	計算の式	人数	18000－15000	約3000人	5							
				計算の式	人数													
				18000－15000	約3000人													
	○がい数にして計算しているが、がい数で表すよさがみられない。 ○2つの数をがい数にしているが、処理の仕方に統一性がない。 (例) <table><tr><td>計算の式</td><td>人数</td></tr><tr><td>18000－10000</td><td>約8000人</td></tr><tr><td>17910－15280</td><td>約2630人</td></tr><tr><td>17900－15270</td><td>約2630人</td></tr><tr><td>20000－16000</td><td>約4000人</td></tr><tr><td>20000－15000</td><td>約5000人</td></tr></table>	計算の式	人数	18000－10000	約8000人	17910－15280	約2630人	17900－15270	約2630人	20000－16000	約4000人	20000－15000	約5000人	2	○上から3けたのがい数にして計算している。 <table><tr><td>計算の式</td><td>人数</td></tr><tr><td>17900－15300</td><td>約2600人</td></tr></table>	計算の式	人数	17900－15300
計算の式	人数																	
18000－10000	約8000人																	
17910－15280	約2630人																	
17900－15270	約2630人																	
20000－16000	約4000人																	
20000－15000	約5000人																	
計算の式	人数																	
17900－15300	約2600人																	
○がい数にして計算している。 (処理の仕方に統一性がある。) (例) <table><tr><td>計算の式</td><td>人数</td></tr><tr><td>18000－16000</td><td>約2000人</td></tr><tr><td>17000－15000</td><td>約2000人</td></tr><tr><td>17900－15200</td><td>約2700人</td></tr></table>	計算の式	人数	18000－16000	約2000人	17000－15000	約2000人	17900－15200	約2700人	3									
計算の式	人数																	
18000－16000	約2000人																	
17000－15000	約2000人																	
17900－15200	約2700人																	
(2)ア	⑬	技能	○式のみ書いている。または、立式は正しいが、計算結果が間違っている。 (例)・30×60×30 ・30×60×30=5.400等	2	○下記のように書いている。 (式) 30×60×30=54000 (答え) 54000 cm ³ ※式の数の順序が入れ替わっていても可	5												
(2)イ	⑭	関心	○隙間なくつめることはできていないが、箱の中に完全に収まるように小箱の個数を書いている。(つめる小箱の総体積が容積18000 cm ³ の大きさよりも小さい場合)	2	○下記のいずれかを書いている。 (Bを6こ、Cを0こ、Dを0こ) (Bを4こ、Cを3こ、Dを0こ) (Bを4こ、Cを1こ、Dを1こ) (Bを2こ、Cを6こ、Dを0こ) (Bを2こ、Cを4こ、Dを1こ) (Bを2こ、Cを2こ、Dを2こ) (Bを2こ、Cを0こ、Dを3こ) (Bを0こ、Cを9こ、Dを0こ) (Bを0こ、Cを7こ、Dを1こ) (Bを0こ、Cを5こ、Dを2こ) (Bを0こ、Cを3こ、Dを3こ)	5												
(3)ア	⑮	考え	○右図の正しい辺一か所に「×」をつけている。 ※正しい2か所の辺にのみ完答で5点とする。 ※ただし、誤った辺1か所に「×」をつけると「－2点」とする。 (例) ・右図の正しい辺2か所と誤った辺1か所につけている場合は、2点とする。 ・正しい辺1か所と誤った辺1か所につけている場合は、0点とする。	2	○下の図のように「×」をつけている。(完答) 	5												
			【授業改善の視点】 実際に直方体(立体)を切り開いて展開図を考えたり、またそれを組み立てて立体をつくったりする活動を通して、直方体(立体)を構成する面同士の位置関係の理解を深める。															

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
3	(3)	⑩	知識	○ふたになる面は正しいが、文字の向きが間違っている。 ※表記の間違いは可とする。 (例) くまもん, クマモン	3	○下の図のように「くまモン」の文字を書いている。 	5
	(1)	⑪	知識			○4の倍数に○をしている。	5
10点	(2)	⑫	考え	○答えは合っているが、求め方の記述がない。 ----- ○求め方の記述は十分ではないが、答えはあっている。	2 3	○求め方と答えを正しく書いている。 (例) キリンをかく人の出席番号は 1, 5, 9, 13, 17 21, 25, 29, 33 この中で3の倍数は 9, 21, 33 十の位の数字と一の位の数字をかけて偶数になるのは 21 (例) 出席番号1から35の中で、 3の倍数は 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30, 33 この中で、キリンをかく人の 出席番号は 9, 21, 33 十の位の数字と一の位の数字をかけて偶数になるのは 21 出席番号は〔21〕番	5
10点	(1)	⑬	知識			○合同な三角形ができる条件を正しく3つ選んで○をしている。 (2辺とその間の角) (例) ・辺ABの長さ, 辺BCの長さ, 角Bの大きさ (1辺とその両端の角) (例) ・辺BCの長さ, 角Bの大きさ, 角Cの大きさ (3辺) (例) ・辺ABの長さ, 辺ACの長さ, 辺BCの長さ	5
	(2)	⑭	考え	○①, ㊦のうち1つが正答している。 ※ 2つ選んだ中に、①または㊦が含まれている場合も3点とする。 なお、記号を3つ以上書いている場合は0点とする。	3	○①, ㊦ 2つとも正答している。 (完答)	5